

海難事故ゼロをめざす 虻田救難所出初式

1月6日、日本水難救済会虻田救難所（高清水幸夫所長）の平成27年出初式が、あぶたふれ合いセンターで開かれ、今年1年の安全と豊漁を、参加した所員一同が祈願しました。

式では、真屋敏春監督官から「安全操業を心がけ無事故でこの1年間を過ごしてください」と訓示があり、高清水幸夫所長が「海難事故の無い平穏な1年をめざします」と答辞を述べました。

出初式に先立って行われた永年勤続表彰では、吉田清正部長が30年、瀬野尾恒之救助員が20年の表彰を受けました。



所員を前に訓示を行う真屋監督官

北海道独特の文化である「下の句かるた」を楽しむ、おとなのかるた交流



読み札をとりあう参加者たち

大会（洞爺湖スポーツクラブ主催）が、1月11日、あぶた体育館で6チームが参加して開かれました。

大会は、1チーム3人で、リーグ戦を実施。

会場では、張り詰めた空気の中で、下の句を読む読み手の声が響き渡り、札を取り合う真剣勝負が繰り返されました。

成績は次のとおり。

1位大西チーム 2位酒井チーム 3位佐藤チーム

下の句かるたで熱い戦い おとなのかるた交流大会

新年 芸交流 流大会

（洞爺湖町老人クラブ連合会主催）が、1月15日洞爺



いろんな出し物が披露された演芸交流大会

湖文化センターで開かれ、カラオケや合唱などで新春を祝いました。

参加したのは、15団体154人。

毛利修会長が「今後もこの演芸交流会が会員相互の交流の場となることを願います」と挨拶し、各老人クラブの発表に移りました。

ステージでは、自慢ののどを披露する人や楽器演奏にコーラス、舞踊、仮装など芸達者な皆さんの出し物が次々に披露され、会場を大いに沸かせました。

笑って交流 老人クラブ新年会

地域の災害ゼロに 花和地区自衛消防隊結成40周年

花和地区自衛消防隊（佐藤正明隊長）が創立40周年を迎え、1月17日、記念の祝賀会を洞爺湖温泉のホテルで開きました。消防職員、消防団員、行政など関係者約40人が参加。災害ゼロに向け決意をあらたにしました。

祝賀会では、洞爺湖町から同消防隊へ感謝状を贈呈。引き続き初代から4代までの隊長に、佐藤隊長から感謝状が手渡されました。

佐藤隊長が「『自分の地域は自分で守る』を信条に今後も災害ゼロをめざしたい」と挨拶。田中初代隊長は「縁の下の力もちとして、これからも支えていきたいし、支えていただきたい」と変わらぬ支援と感謝

を述べました。



真屋町長から感謝状を受取る佐藤隊長

まちのわだい

